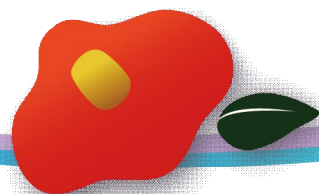


ボタニカル吸水柔軟加工剤

パラファイン BDT

(PARAFINE BDT)



“ボタニカルドライ”加工剤

ここ最近、「植物の力を取り入れて活力を得る」という意味合いの“ボタニカル”という言葉が、ファッションや食品など、生活に幅広く浸透してきています。

大原パラヂウム化学はこの“ボタニカル”に注目し、従来のうるわし繊維加工の風合の良さはそのままに、吸水性を高めてより快適性をアップさせた、パラファイン BD(ボタニカルドライ)シリーズを開発しました。春夏に向けての加工にも最適です！

このボタニカルドライシリーズの中のパラファイン BDT は、シリーズの特徴である **サラサラタッチ** と、**洗濯後も変わらない吸水性** に加え、椿油配合で上質な柔らかさを生地に与えます。

パラファインBDTの主成分

椿油(つばきゆ)

椿油は、日本古来より髪のスキンケアに使用されています。皮脂成分に極めて近く、酸化されにくいオレイン酸が植物油の中で最も多く、85%以上含有しています。

シルクアミノ酸

シルクプロテイン由来のアミノ酸を使用しています。湿潤性・保湿性に優れています。

スクワランオイル(Squalane)

スクワランは不飽和炭化水素(スクワレン)を水素添加して得られる天然の飽和炭化水素です。人間の皮脂の一部に含有しており、皮膚への浸透性・湿潤性・保湿性に優れています。

性状

外観	: 黄白～黄色透明液	イオン性	: 非イオン性
pH	: 5.0±1.0	溶解性	: 冷水に易溶

吸水性能比較

		ブロード		ニット	
		綿	T/C	綿	T/C
従来品 4% 加工布	初期	6.0	8.0	1.5	2.0
	HL-10	8.0	>60	1.5	16.0
BDT 4% 加工布	初期	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
	HL-10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0

加工条件／パディング処理、Dry110°C×3分 (秒)

滴下法 JIS L-1907(6a-1)法

使用方法

- パディング法また吸尽処理法にて処理して下さい。
パディング法 使用量 30～50g/ℓ
吸尽処理法 使用量 3～5% o.w.f.
- 熱処理は素材や併用加工剤に応じて処理して下さい。

特徴

- 各種繊維素材にてドライタッチタッチでソフトな風合に仕上がります。
特に綿の高密度(240～280本)の織物において顕著な風合に仕上がります。
- 希釈安定性及び各種加工剤の相溶安定性に優れています。

注意

- 加工処方・処理される繊維により、風合および染色堅牢度の低下性が若干異なりますので、実際の使用に際し予備試験の上使用してください。
- 通常の保存で安定ですが、冷暗所に保存してください。
- 濃色生地の場合に、スクワランオイル及び椿油による濃色化が起こることがあります。

ここに記載された資料内容は、細心の注意を払って行った社内試験に基づくものですが、必ず予備試験の上、使用して下さい。
取扱いに関しては、SDSを参照して下さい。